

【目標達成計画】

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1 (1)	○理念共有と実践 理念の文言が、専門的で伝わりにくいのではないかと、もっとわかりやすく覚えやすい物を一同で考えていかなければならない。	「子供にも分かるキャッチコピー」 本人、家族、地域の皆様、職員も含め、覚えやすく、暗唱できるようなものにする。	・理念の明文化 カンファレンス等にて話し合い、文言を検討し決定していく。	1ヶ月
2	4 (3)	○運営推進会議を生かした取り組み 広く地域に根ざした会議となるように、開催の仕方等新たな取り組みが必要ではないか。	本人、家族、地域の皆様が参加しやすい日程や、事業所、地域の行事等と合同での開催などを計画する。	・2か月に1回の開催になるので、事前に行事等の日程を把握し、集まっていただけの方への便宜を図る。 ・事業所の行事や、地域の行事と合わせて開催できるような日程の調整をしていく。	1年
3	6 (5)	○身体拘束をしないケアの実践 認知症についての理解が深まり、身体拘束をしないケアが継続されるような取り組みを行っていかなければならない。	研修等は継続して行い、委員会活動を中心に啓蒙活動を行う。	・フォーラムへの参加、外部研修参加、そこからのフィードバック等を委員会を中心に計画する。	3ヶ月
4	10 (6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 ご意見や、苦情等にどのように対応していかなければならないか、仕組み作りが必要。	本人、家族等のご意見を反映させる方法として、定期的なカンファレンス開催や、アンケートへのご協力をお願いしていく。	・計画作成時、本人・家族とのカンファレンスを計画し、ご意見を反映できるようにする。 ・年間1～2回アンケートへのご協力をお願いし、日頃感じておられる疑問や要望、苦情を聞き取れるようにする。	3ヶ月
5	35 (13)	○災害対策 夜間の対策や、訓練、またハザードマップの地域での共有など発信者となり、地域の拠点を目指さなければならない。	運営推進会議での議題に挙がっている、地域での協力体制を整え、緊急事態に対応できるようにしていく。また、ハザードマップ等作成し、地域の方々への啓もう活動を行う。	・自治会との緊急時対策の詳細を決めていき、訓練等も計画する。 ・ハザードマップは、県・市の作成物を使いながら、地域の方との交流の場で広めていく。	6ヶ月

※項目の欄は、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入するか、コピーしてページを増やして下さい。